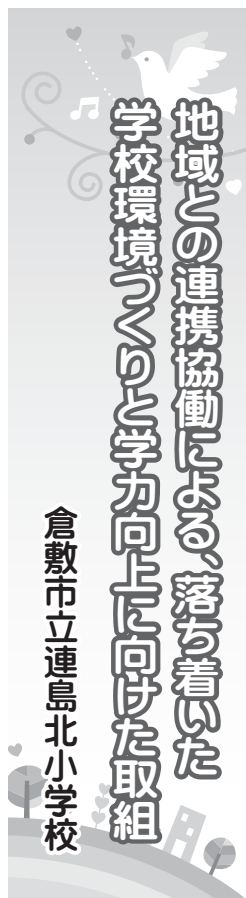


広げよう！優良実践の輪！

～平成30年度 優良実践校の取組～

取組 5



1 はじめに

本校は、県南部に位置し、児童数128名の小規模校です。児童は明るく素直ですが、小規模校という特性から、個に応じた学習が保障される反面、他者との交流が少なく、集団の中で自ら主体的に取り組むことは苦手でした。

そこで、地域と連携協働し、落ち着いた学校環境づくりと学力向上に向けた取組を進めています。

2 具体的な取組

(1) 教育課程の工夫

他者と関わる機会を多く設け、コミュニケーション能力や社会性を伸ばしたいと考え、外部講師による合唱指導・水泳指導・出前講座等、また、地域の教育



全校での稲刈り

資源を活用した保育園との交流学习、田植えや稲刈り等の体験活動を取り入れた授業を、教育課程に意図的・計画的に位置付けています。

(2) 「連北応援隊」の設立

本校は、平成29年度から「連

北応援隊」(地域学校協働本部)を立ち上げ、地域との連携協働を進めています。登下校の見守り、読み聞かせ、学習支援花の植え替えやペンキ塗り等の環境整備、放課後子ども教室の活動支援等、様々な場面で学校支援ボランティアの方々を支えていただいています。

(3) 校内研修の充実

「教職員は学びのモデル」を目指し、大学や教育委員会、NPO法人、スクールカウンセラー等外部講師を招いての校内研修、先進校視察、OJT研修等、校内研修を積み重ねています。

(4) 学力向上に向けた取組

全教職員がベクトルを揃え、朝15分間のスキルタイム(音読・計算・漢字)の導入、「家庭学習の手引き」の見直し、「山型学習指導のスタンダード」の授業5(ファイブ)に沿った授業、一人に一台使えるタブレットPC等を活用した授業、学習支援ソフトを活用した放課後

学習サポート等にも取り組んでいます。

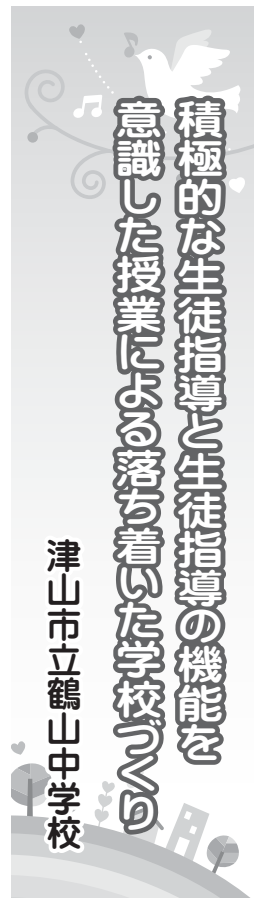


スキルタイムの様子

3 おわりに

本校は、こうした取組により、学校環境が整備され、学習や行事等に主体的に取り組む児童が増えてきました。今後も今まで以上に児童、教職員、保護者、地域の方々の笑顔が増え、学校、家庭、地域がますます活性化するように、合言葉の「笑顔がいっぱいの連北」への歩みをさらに進めていきたいと思えます。

(校長 中田 和子)



1 はじめに

これまでの優良実践校の取組は大変参考になりました。

本校は、県北部の津山市の中央に位置し、生徒数約220名の小規模校です。これまで生徒指導上の問題などにより学校が落ち着かない状況が続いていました。また、学習面においても長年にわたって全国及び県の学力・学習状況調査の結果がそれぞれ平均を下回るなどの課題がありました。

教職員は、生徒一人一人が希望する進路の実現を目標に次のことについて取組を行いました。

2 生徒指導の取組

初めにSWOT分析を行い、本校の強みと弱みを分析しました。次に、「誰もが行きたくなる学校づくり」に取り組んで来られた総社市立総社西中学校の実践を参考にさせていただきました。



対人関係スキルの学習の様子

生徒指導主事が中心となり対人関係スキルの学習とキャリア教育、品格教育（グッドビヘイビアチケットの活用）を行いました。教員間においてもグッドビヘイビアチケットの取組を行いました。さらにハイパーQU等を活用し、意図的に生徒に声をかけをするキャンペーンを行いました。配慮を要する生徒・長期欠席の生徒等への対応については、報告・連絡・相談・念押し

し・確認を徹底しました。各関係機関や地域のキーパーソンとの連携も密にしました。また、5年前から県事業の「規範意識向上モデル校」に指定され、学校警察連絡室の方々から、学校内外のトラブルへの対応について、指導・助言をいただくことで安心して対応することができました。

3 学力向上の取組

落ち着いた学習環境を整えるために、3分前行動1分前着席機の整頓及び机上の整理、開始と終了のあいさつをきちんとするなどの授業規律を徹底しました。次に生徒に学習の手引きを使い、学習の仕方を学習させました。併せて家庭学習の仕方についても学習させました。また全国及び県の学力・学習状況調査等の過去の問題には、繰り返し取り組ませました。さらに、授業改善として管理職・主幹教諭・授業改革推進リーダーによる授業観察と指導により「岡山型学習指導のスタンダード」の授業5（ファイブ）を徹底しました。同時に本校の研究テーマである特別支援教育の視点も取

り入れた授業改善に取り組みました。放課後学習や土曜学習にも3年生を中心に取り組みました。ボランティアとして近隣の高校生や大学生・保護者の協力を得ました。



「夢の木（生徒・教職員それぞれの夢を掲示）」

4 おわりに

全国及び県の学力・学習状況調査の結果は、改善傾向にあります。また、いじめ・暴力行為・不登校の対応については、今後もきちんと対応することが求められています。

今後も職員一同で、生徒の輝く未来のために、生徒の夢の実現に向けて取り組んでいきたいと思えます。

（校長 齊藤員由）